



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団

問 災害に強い弥富市へ全力を

答 地域防災力の強化を図る

問 尾張大橋架け替えの進捗状況は。

答 (土木課長) 進展等はない。

問 周辺の堤防の強化は。

答 (市長) 止水板設置を検討中。

問 優先度をどのレベルで考えているか。

答 (土木課長) 架け替えと堤防強化を一体で進める。

問 防災備品の消耗品が自主防災組織補助金の対象外となっている理由は。

答 (総務部長) 初期的、重点的な地域の防災体制整備を支援する仕組みであるため。

問 補助を見直す考えは。

答 (市長) 見直しを検討していきたい。

問 市民参加できる防災行事は。

答 (総務部長) 毎年9月に各学区コミュニティ推進協議会主体の防災訓練、10月、11月に市主催の防災ワ

ークショップ、2月に広域避難訓練を実施。

問 SNS や動画配信など、若い世代向けの広報強化の考えは。

答 他自治体を参考に研究していく。

問 市長総括を。

答 (市長) 県による「ゼロメートル地帯広域防災活動拠点」の整備、各防災関係機関との連携強化で安心して暮らせるまちづくりを推進。



▲前ヶ須自主防災会の防災備品

問 市内に屋内温水プール新設を

答 新設せず、民間施設を活用

問 弥富市公共施設再配置計画の進捗は。

答 (総務部長) 当初の計画通り進んでいる。

問 再配置計画の見直しを行う予定は。

答 5年を目安に見直している。

問 体育館やプールなどの学校附属施設の計画は。

答 (教育部長) 老朽化状況、利用実態などを踏まえ整理していく。

問 老朽化が進む各学校のプールの更新時期は。

答 日の出小を除き、民間施設の活用を検討。

問 近隣市の民間プールに通う場合、プール授業の時間は。

答 7 kmから10 km範囲の事業者で検討しており、十四山西部小の場合45分から70分。

問 屋内プールを市内に整備した場合の試算は。

答 昨年竣工した他自治体を参考にすると16億3千万円。

問 学校プールの集約や屋内温水プールを検討する考えは。

答 計画はない。老朽化対応と将来的な児童数の推移を踏まえ、民間施設の活用を拡大していく。



▲弥生小学校のプール